科目区分	専門教育科目	科目名	保育	育実習指導 Ⅰ	科目コード	19Y720	担	当者	光武 きょみ、荒木 I 織田 芳人、中村 浩 本村 弥寿子、福井 謙 蛯原 正貴、船勢 ¹ 山中 慶子		美、 一郎、		
対象学生	幼児教育学: 全学	科	学期 区分	通年	単位数	2	担当	4形態		オムニバス			
	科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件		選択			
							免許・資格 要件 保育士必修						
科目の主題								学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
保育実習の意義・目的・内容・姿勢を理解し、実習計画、実践、記録、評価の方法や内容について学習する。また実習における自己課題を明確にし、実習後の自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする							1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と 人間力		2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と 創造力		明確な	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と 実践力	
			科目の到達目]標			① 誠	② 多	③ 知	④ 表思	⑤ ⑥ 実主 就		
1.	保育実習の意義や目的、	実習施設につ	いて理解でき				実性	· 様 性	識	現考・創判	行体 力性	業力	
2.	保育実習の計画や記録ス	方法について理	里解できる				真摯	· 協 働	協能		自員		
3.	自分の自己課題を明確し	こできる					性	性		р П	性力		
4.	自己課題の解決に向けて	て計画・実行で	: : きる				0	0	0	0	0	0	
5.									→	力方法と割	合		
			授業方法										
受講態度 (40%) 学外実習に向けて必要な知識や記録方法などをオムニバス形式により、講義やグループ学習で学ぶ。また、実習 姿勢は実技などを通して修得する。 提出物 (60%)													
課題等への対応						授業外学修時間							
課題は確認等を行い、個人へ返却する。													
11小で21小川	認寺を打い、個人へ返却 T	叩する。					週30分程	豊度の予習	復習が必	要			
回数	談寺を行い、個人へ返去	いする。	授業	計画			週30分程			要予習・復習	a)		
回数 第1回	実習総合オリエンテージ	ション①	授業	落 十画			次回まで	学に実習の	習課題(予習・復習	:	李昭才	
回数 第1回 第2回	実習総合オリエンテージ	ション①	授業	計画			次回まで実習の種る	学 に実習の 類と時期	習課題(手引きを Iについて	予習・復習読んでおく	ミ習依頼を		
回数 第1回 第2回 第3回	実習総合オリエンテージ	ション① ション② ション	授業	計画			次回まで実習の種る依頼の流学習につ	学に実習の 類と時期 れを把握 いて予習	習課題 ()手引きを について し、実際 する	予習・復習 読んでおく 把握し、9	₹習依頼を 〒う。さら	に体験	
回数 第1回 第2回 第3回 第4回	実習総合オリエンテー: 実習総合オリエンテー: 実習依頼オリエンテー: 体験学習オリエンテー:	ション① ション② ション	授業	計画			次回まで実るを報のの流ででいます。 な頼のの流では、 体準備を行	学 に実習の 類と時期 れを把握 いて予習 について	習課題 ()手引きを について し、実際 !する 歩り返り	予習・復習 読んでおく 把握し、9 に依頼を行 を行い、9	く 実習依頼を すう。 さら 実際に行く	に体験ための	
回数 第1回 第2回 第3回 第4回	実習総合オリエンテー: 実習総合オリエンテー: 実習依頼オリエンテー: 体験学習オリエンテー: 社会的養護と人権	ション① ション② ション ション	授業	計画			次 実る 依学 体準 社習の ののに学を 体準 社習 いっこ でる できる できる できる できる できる できる かいこう はいい はい	学に実習の れを把握 れを把握 について き う き につい	習課題(手引きを について 実際 はする 振り返り で復習し	予習・復習 読んでおく 把握し、写 に依頼を行 を行い、写 、子どもの	と習依頼を テう。さら と際に行く の人権につ	ためのいて予	
回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	落十画			次実る依学体準社習児支	学に実習の がれた を把握 がいてつい で う う 施設の を行	習課題(手引きを し、、 し、まり返り で復習し で復習し	予習・復習・復習が表示のでは、 はない はない はい	と習体頼を ですう。さら 足際に行く の人権につ	ためのいて予保護者	
9 9 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者3	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 写る 依学 体準 社習 児支 保 護者 など 学を 的る 福の 春 者 報 と	学に実習の 類れを形形を いにういで にう にう にう にう にかいの を で の の を した で の の の を した した した した した した した した した した した した した	習課題(手引きを につい実際 しまり返り でで、 類うででいい、	予習・復習・ 読んでおく 理 に な頼を行い、 ま で そ 子 ど もの で 振り返り	民習依頼を を を を に 行く の 人権につ しを 行い、 験学習準化	に体験ためのいて予保護者構を行う	
9 9 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者3	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る 依学体準 社習 児支 保 体学 なる 福の おっこ 著行 養 祖ま 支 保 体学を かる 福の 者 学 音 で 一種 かっこ まん は いっこ まん は いっこう は は いっこう	学に実習の 類と時期 れをで予いにうう にうう にうう にうしていい にう にうしていい にう にう にといるで にいるで にいるで にいるで にいるで にいるで にいるで にいるで に	習課題(手引きを について にしず振りと習いて ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで	予習・復習・復習・表示を では できない ままま でまない ままま でまる できない ままま できる	実習依頼を デラ。さら 実際に行く の人権につ リを行い、 験学習準化	に体験 ための いて予 保護者 着を行う	
9 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者3 体験学習① 体験学習②	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る 依学体準 社習 児支 保 体 験学 学習 で 種 の のに できを 的る 福の 者 学 学習 で 利 ・	学に実習の類になる。 類と時期になるである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	習課題(手引きを にしず振り で 数) で 数) で 数う で 数う で 数 り で で い 、 る し で り し で う で う で う で う い 、 を う で う い 、 を う で う い 、 を う で う 、 を う に り を う で う 、 を う 、 を う 、 を う 、 を う 、 を う 、 を う に う を う の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	予習・復習・復習・復習・表示を行って、 子を行い、 すい を行い、 すい を行い、 すい を行い、 すい では もの いい、 報告書	高いでは、 を習体頼を を言う。さら を際に行く の人権につ が、 を行い、 験学習準化成を きの作成を	に体験 ための いて予 保護者	
9	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習②	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る 依学 体準 社習 児支 保 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体	学に実習の れを把握。 おいてつい 護についを行う についを行るでは、 をとめをでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	習課題(手引きを にし、る にし、る ありりで でいい、 でいいい、 でいいい、 でいいい、 でいいい、 でいいいい、 でいいいい、 でいいい、 でいいい、 でいいい、 でいいい、 でいいいい、 でいいいいい、 でいいいいい、 でいいいい、 でいいいいい、 でいいいいいい、 でいいいいいいいいいい	予習・復習・復習・復習・復習・復習・復習・復習・ない。 また にん できる といい はん ない ない いい いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	に記しています。 に記しています。 にこっています。 にこっています。 にこっています。 にこっています。 についまする。 についまする。 についまする。 についまする。 についまする。 にの作成を よの作成を よの作成を	に体験 ための いて予 保護者	
9 9 9 9 11 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1 10	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 体験学習③ 生活支援について①	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	落十画			次 実る依学体準社習 児支 保 体 体 集習 間 流つ習行養 祖志 支 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署 署	学の 類 れいにう 護 れいにう 護 に と	習課題(手引きを にしず振りない ないの検 がで、 ないの検	予書・復名が、また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。ま	を習体頼を を で で で で で で で で で で で の 人権につ い 、 験学習準化 を の 作成を き の 作成を き の 作成を を の に に に る ら に に の に の に の に の に の に の に の に の に る ら 。 に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に る ら 。 に る ら 。 に る に る ら 。 に る ら 。 に る ら 。 に 。 に 。 に 。 に る ら 。 に 。 に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 に る に 。 に る に る 。 る 。 に 。 る 。 。 。 る 。 に 。 に 。 。 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	に 体験 ための 保護 帯 行う 行う	
9	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 生活支援について① 生活支援について②	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る依学体準社習児支 保 体 体 実 名を回 習 頼習験備会す童援 護 験 験 習 札行の かに学を的る福の者 学 学 学 用 づうる おっちょう かいしゅう おいしゅう はんしょう はんりょう はんしょう はんしょく はんしんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしんしんしん はんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしん	学の期 れいにう 護 たと 接 の を を で かいにう 護 に と 接 を を で かい で かい で う に き と 接 の を 復 切 の 振 切 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	習課題(きをで類)を返返返の後りを行りまた。これは、ででである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	予読・把にを、て「回いいい、準に、を、て「回い、、報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	に 体験 ための 保護 帯 行う 行う	
9 9 9 9 110	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る依学体準社習児支 保 体 体 実 名を 卒 の のに学を的る福の 者 学 学 学 用 づう 生物 一种	学の 期 握習 れいにう 護 施と 援 の の 振 振 と で で の を で で の の の 振 振 り り り い 講演を 関 の の 振 い り り り ま を で で で で で で で で で で で で で で で で が い が ま い り り り い か で で で で で で で で で で で で で で で で で で	習課題(きをで類)を返返返のの返りき、	予読把にを、ていいい、準にを、ていいい、準になり、もしい体もも、のがのでは、ないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	に智体頼を を で で で で の 大 を に で の 大 を に で の 大 を で の に で の に で の に に の に の に の に に に に の に に に に に に に に に に に に に	に 体験 ための 保護 帯 行う 行う	
9	実習総合オリエンテージ 実習総有オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者3 体験学習① 体験学習② 体験学習③ 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会 文書作成①	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る 依学体準社習 児支 保 体 体 実 名を 卒 配回 習 頼習験備会す 童援 護 験 験 習 礼行 業 布プログラ ののに学を的る福の 者 学 学 学 用 づう 生 プリー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	学の期 れいにう 護施と 援の 振りり 講 トを記する 振りり 調査 トリカ (事) では いかん できる かんしょう できる できる はい かんしょう はい	習課題(して、 類)を返返返の返りき、 ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	予読把にを、、て、ロい、い、準い、準の版は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	に で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	に体験 ための いて予 保護者	
9 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 体験学習③ 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会 文書作成②	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	高十画			次 実る 依学 体準 社習 児支 保 体 体 実 名を 卒 配 配回 習 頼習 験備会す 童援 護 験 験 習 札行 業 布 布の のに学を的る 福の 者 学 学 学 用 づう 生 プ プ プ プ フ リ リ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ	学の 期 据習で いで 種子 いいこう 護 施と 援 ① ② の の づ の 演 トトト の の の の の が の 演 トトト を き き き き き き き き き き き き き き き き き	習課題 手にしず振て 類うを返返返の返きみみの返りです。 いっぱい かんがん できない といい ない はいい ない ない ない はいい ない ない はいい いいかん かんしゅう かんしゅう はいい かん 行行 たい はいかん かんしょう しょうしん はいい しょう はい はい しょう はい はい はい しょう はい	予読把にを、て「回いい、準い書ののを置くする。」を、は、の本書書で、は、を振りりの報報報を次作りりのなどのは、は、は、本書書書である。	を習体頼を さらくつ 人を行い、 様子の作成を まの作成を まる いっぱん はい なん でんしょう いっぱん はい	に体験 ための いて予 保護者 構を行う 行う 行う	
9	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会 文書作成② 実習施設情報収集	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	高十画			次 実る依学体準社習児支 保 体 体 集 名を 卒 配 配 実回 習 頼習験備会す童援 護 験 験 習 札行 業 布 布 習 が 対 が す 子 の リ リ 設 番 子 の リ リ 設 番 子 の リ リ 設 か の の の の の の の の の の の の の の の の の の	学の期 握習でいたう にき 接ん ののののでは、 はいでは、 はいがいが、 はいがい はいがい はいがい はいがい はいがい はいがい	習いまして類うを返返返の返きみみ集です。	予読把にを、て1回いいい準い書のの記録は、するのは、ない、準は、書のので記録を次作りり録を次作りり録を表している。	に 習 依頼を ちゅう こう に ない 準 は の かられ で の いっぱい 準 は の かられ かられ から こう いっぱい かられ から こう いっぱい から かられ から いっぱい から いっぱい から いっぱい かんしょう いっぱい かんしょう いっぱい かんしょう いっぱい かんしょう いっぱい かんしょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	に体験 ための いて予 保護者 構を行う 行う 行う	
9	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会 文書作成① 文書作成② 実習施設情報収集 日誌の書き方①	ション① ション② ション ション ション ション ション	授業	計画			次 実る依学体準社習児支 保 体 体 実 名を 卒 配 配 実 日 の のに学を的る福の 者 学 学 学 用 づう 生 プ プ 脆 の のに 学を のる福の 者 学 学 学 中 用 づう 生 プ プ 脆 の まんつ まんしょう しょうしょう まんしょう しょうしょ 記 書	学の期 担当でいる 種子 の 明 担当でいる を と 接 の の で の あ で で ま と を で つ の を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	習課題手にしず振て類うを返返返返の返きみみ集りである。 というない はいいいん かいいん ないしん かいない はいいいん かいない はいいいん かいいん かいん はいいいん かん はいいいん かん はいいいん かん はいいいん かん はいいいん はいいん は	予読把にを、て回いい、準い書のの、実でもなりので、も返体書書での成返返物書のの、書のの、記録にはいい、ののの、記録にはいい、ののの、では、のののでは、のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、の	を習体頼を さらくつ の	に体験 ための いて予 保護者 備を行う 行う 行う の準備	
回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第10回 第11回 第13回 第14回 第15回 第15回	実習総合オリエンテージ 実習総合オリエンテージ 実習依頼オリエンテージ 体験学習オリエンテージ 社会的養護と人権 子どもの人権と児童福祉 児童福祉施設と保護者が 体験学習① 体験学習② 生活支援について① 生活支援について② 卒業生講演会 文書作成② 実習施設情報収集	ション① ション② ション ション 北施設 支援	授業	高十画			次 実る依学体準社習児支 保 体 体 実 名を 卒 配 配 実 日 課るす で 種 流つ音行義 袖ま 支 晋 晋 名 く の リリ 設 書 書	学の期 提習でいる 種子 での 期 提習でいる できます とをてつ に 設めの の あいで うに 設めのの での できます できます しゅう はい はい しゅう はい はい しゅう はい しゅう はい はい しゅう はい しゅう はい しゅう はい しゅん はい しゅう はい しゅん はい はい しゅん はい は	習罪手にしず振て類うを返返返の返きみみ集りいて、おり復に行りりりける。、、、を返て行りをを討さて報本本行り振びである。、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	予読把にを、て1回いいい準い書のの記録は、するのは、ない、準は、書のので記録を次作りり録を次作りり録を表している。	ではていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	に体験 ための いて予 保護者 備を行う 行う 行う の準備	

第20回	施設長講演会I(障害児施設)	講演を振り返って、報告書を作成する						
第21回	施設長講演会Ⅱ (児童養護施設)	講演を振り返って、報告書を作成する						
第22回	実習施設事前訪問	事前訪問内容を振り返り、報告書を作成する						
第23回	実習施設事前訪問	事前訪問内容を振り返り、報告書を作成する。手引き 施設実習を読む						
第24回	保育実習 I (施設) オリエンテーション	施設実習内容を振り返り、実習に行く準備を行う						
第25回	施設実習振り返り	施設実習を振り返り、報告書等の作成を行う						
第26回	保育実習I(施設)意見交換会	意見交換会を振り返り、報告書の作成を行う						
第27回	施設実習振り返り	施設実習を振り返り、報告書等の作成を行う						
第28回	保育者のマナー	社会人に向けてのマナーについて、資料を読んで振り 返りを行う						
第29回	施設実習報告会	報告会を振り返って、報告書の作成を行う						
第30回	施設実習事後指導	実習の評価の反省を行い、次回実習の課題を見つける						
試験	定期試験を実施しない							
教科書	「教育・保育実習の手引き」「実習記録ハンドブック」プリント類		ればなりませ	で保育者として子どもたちの前に立ち、保育を実践しなけせん。そのためには、事前に学び、身につけておくことがります。子どもたちの尊い命を守り育む仕事に就くというて学んでください。				
参考書等	なし	メッセージ						